

分科会Aグループ報告（参加者 16名）北信・東信地域中心

Aグループまとめ

自己紹介とともに普段の活動やテーマに関する話のほか、連絡会に求めるものなど話題にあがった。それぞれ、学校での観察会や林間学校での観察会対応、博物館主催の観察会のサポート等多岐にわたっている。個人参加や比較的少人数での活動をしている方も多かった。

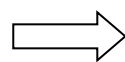
その中で、

- ・ 「天文・宇宙に興味を持ってほしい」
- ・ 「星空を楽しみたい」

というモチベーションから派生する観察会や星空継続観察や星空観望などの情報共有や横のつながりがもてるようになりたい意見が多かった。

興味を持ってほしい：観望会の対象はさまざま

- ・ 対象は県外からの観光客
- ・ 一般市民
- ・ 小中学校（地元）
- ・ 林間学校中の観望会など
- ・ 通りすがりの一般市民（興味を持っていない人々も）

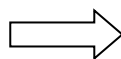


人材不足・孤独感・高齢化・・・

- ・ 星空案内人養成に期待
- ・ 愛好者連絡会で横のつながりや仲間作りができるといい。
- ・ 地域おこしにもつながるのでは？

星をたのしみたい

- ・ 観望場所の共有
- ・ 環境の変化に関心
- ・ 情報共有（太陽観察やさまざまなイベント情報など）



- ・ 星空継続観察のモチベーション継続のためにも情報共有や目的意識をもちたい。
- ・ 気軽に近くの会の活動に参加してほしい。

☆外部からの観望会要請の対応について

参加は有料か無料か？報酬はあるか？→交通費実費程度。報酬あるケースも。

☆観望会の際の曇天対策や中止の場合の周知の方法は？

- ・ 18：00に決定→問い合わせしてもらう形。
- ・ 中止はしない。曇天対策用のプログラムを複数用意してある。
- ・ 座学形式では飽きられてしまうこともあるので、工夫が必要なこともある。
- ・ 「宇宙の大きさ」を実感できる参加型のプログラムは大人にも好評だった。

☆ウェブ活用について

- ・ 星のイベントを検索しなくてもたどりつける（宣伝できる）仕組みがあるといい。→観光情報の検索などで引かれるような仕組み。観光イベントにリンクできるといい。

情報共有・情報交換

- ・ 愛好者連絡会のMLをもっと活用しよう！オープンにしていいものをもっと情報を流そう！
- ・ この会が活動の拠点になり・会員どうしのつながりがもてるといい！